

2010年8月11日 毎日新聞朝刊「みんなの広場」

名作再読し、文学紀行を楽しもう

旅行作家 清水 武 69 (東京都昭島市)

猛暑。こんな時、定年の方には読書をお勧めします。もう半世紀以上も前ですが、たまに中学・高校時代の担任が国語の先生で「夏休みには大作を読みなさい。今は分からなくても人生の深みを感じられるだろう。読み終えたら少し偉くなったように感じるかもしれない」と教えられました。

そんな言葉に押されてシェクスピアやゲーテにも取り組みました。当時は難解でしたが、確かに少し偉くなったような気になりました。

現在は、昔読んだ作品を再読してはその舞台を訪ねています。「ドン・キホーテ」から始まった旅は10作品ほどになりました。青春時代に胸ときめかせた小説の舞台に立つことは、何事にも代えがたい感慨があります。いつかは温泉地が舞台の『坊っちゃん』や『雪国』など日本の名作も、との想いも温めています。今年は「国民読書年」。暑い夏に本を開き、秋には作品の舞台でもう一度感慨を深める文学紀行はいかがでしょうか。